

小児血液腫瘍科 定期健診外来のご案内

小児がんの晩期合併症と定期健診外来

近年、小児がんの治癒率が向上し、多くの小児がん経験者が社会に戻れるようになってきました。しかし、成長発達の途中で強い治療を受けた影響がからだやこころに長く残ってしまったり、治療終了後数年たってから新たに出てきたりする「晩期合併症」が新たな問題となっています。成長発達の異常、中枢神経系の異常、その他の臓器障害、二次がんなど、その種類は様々です。からだへの影響はもちろんですが、こころや社会的側面にも大きな影響を及ぼすことが知られています。

当院ではこのような様々な問題に対処するために、「小児血液腫瘍科 定期健診外来」を毎週水曜日午前に小児がん専門医が交代で診察を行っています。小児がんの治療を受けたことのある方には、晩期合併症を早期発見・早期対処するためにも、年1回以上の定期的な受診をお進めしています。

定期健診外来を受診するには？

- ・当院の小児血液腫瘍科で治療を受けた方
外来主治医が適切なタイミングで定期健診外来の予約をとりますので、お気軽にご相談下さい。
- ・他院で治療を受けた方
転勤などで治療を受けた病院から離れてしまった患者さんも多くいらっしゃいます。まずは、治療を受けた病院で病気の経過や治療内容についてのサマリー（診療情報提供書）をもらいましょう。その上で、「小児血液腫瘍科定期健診外来（毎週水曜日午前）」に電話で予約をおとりください。
地域医療連携室（06-6929-3643）

定期健診外来の流れ

定期健診外来では、からだの面はもちろん、こころの面、社会的な面も含めて総合的にみることを大切にしています。そのため、医師の診察の前にソーシャルワーカーや臨床心理士が問診を行います。どんな些細なことでも構いませんので、気になることがありましたら、お気軽にご相談下さい。

・ソーシャルワーカーによる面談
・こころの健康チェック

小児血液腫瘍科／小児
内分泌科医師の診察

（必要時はコーディネーター
看護師がご自宅へ電話連絡）

*面談やこころの健康チェック、診察、検査などで気になる結果が出た場合、カンファレンスで検討した上で、コーディネーター看護師よりお電話させていただくことがございます。ご了承ください。